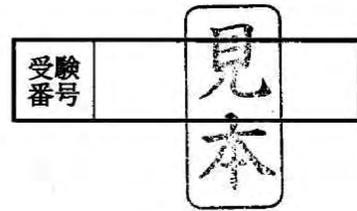


'13

前期日程



芸術・表現系共通 小論文問題

(教育学部)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 解答は指定の答案用紙に記入してください。
4. 答案用紙の文中に後から字句を追加挿入する場合は、行間あるいは余白などを利用してください。
5. 下書き用紙及び問題冊子は持ち帰ってください。

◇M17(707—96)

【問題】 次の問題，〔A〕〔B〕から一方を選び，600字程度で答えなさい。

〔A〕 文部省唱歌「ふるさと」(高野辰之 作詞／岡野貞一 作曲)は，東日本大震災の後，被災地に対する思いや復興を願い，様々な場面で歌われ，注目を集めています。首都大学東京准教授の西島央氏は「歌があれば，人は故郷を奪われた被災地に思いをはせることもできる。だが，一つの情景を歌うことで，時代や地域の違いが見えなくなる側面もある。いまの『ふるさと』の詞をつくることで，そこを考えてほしい」と述べています。

いまの新しい『ふるさと』の詞をつくる活動を，あなたはどのように考えますか。様々な見方や側面から考察し，あなたの見解を的確にまとめて600字程度で論じてください。

引用・参考文献：朝日新聞 2012年(平成24年)6月28日 木曜日 教育面

[B] 次の絵は、マルセル・デュシャン(Marcel Duchamp, 1887~1968)の『L. H. O. O. Q.』(1919年)です。レオナルド・ダ・ビンチの『モナリザ』の市販の絵はがきにデュシャンが鉛筆でひげを描き加えた作品です。このことを踏まえて、この絵から読み取れること(感じたり、考えたりしたことなど)を自由に論述してください。



26
28

La Joconde

— 2 —

◇M17(707-98)

Marcel Duchamp 『L. H. O. O. Q. 』 (1919)

©Accession Marcel Duchamp/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2014

D0605